

2020年卒
Vol.06

4月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2020 学生モニター調査結果 (2019年4月発行)

採用広報開始から1カ月。就職戦線はどのように進んでいるだろうか。

4月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は26.4%で、4人に1人以上が早くも内定を手に行っていることがわかった。内定率のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 4月1日時点の内定状況

- 内定率は26.4%。3月時点（13.9%）より12.5ポイント上昇
- 前年同期実績（18.8%）を7.6ポイント上回る
- 内定取得者のうち、就職先を決定し活動を終了したのは22.1%（モニター全体の5.8%）

2. 就活継続者が活動の中心とする企業

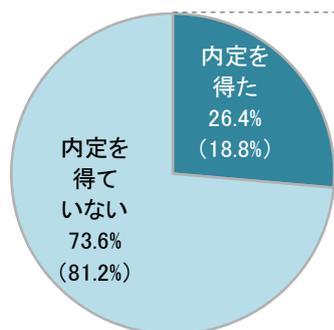
- 活動の中心は「業界トップ企業」22.3%、「大手企業」31.5%。大手狙いの学生が計53.8%
- 内定保持者では「内定企業よりも大きい企業が中心」が過半数（53.2%）

1. 4月1日時点の内定状況

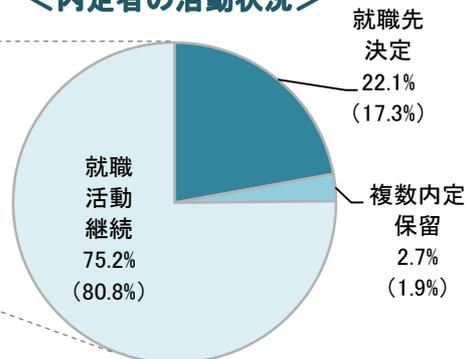
4月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の26.4%。先月（3月1日）の13.9%から1カ月間で12.5ポイント増えた。前年同期（18.8%）を7.6ポイント上回り、採用活動の前倒しが進んでいることが見て取れる。4月の内定率が2割台をマークするのは2015年卒者以来5年ぶりだが（グラフは次ページ）、当時は選考解禁が今より2カ月早い4月1日だったことを考えると、今年いかに早いペースで内定が出ているかがわかる。

ただ、内定取得者のうち就職先を決めて就職活動を終了したのは2割程度（22.1%）で、内定者の7割以上（75.2%）が就職活動を継続していると回答。前年同期調査に比べ終了割合は高いものの、モニター学生全体を分母にとると、就職活動を終了した者の割合は6%程度。大半の学生にとって本番はこれからだ。

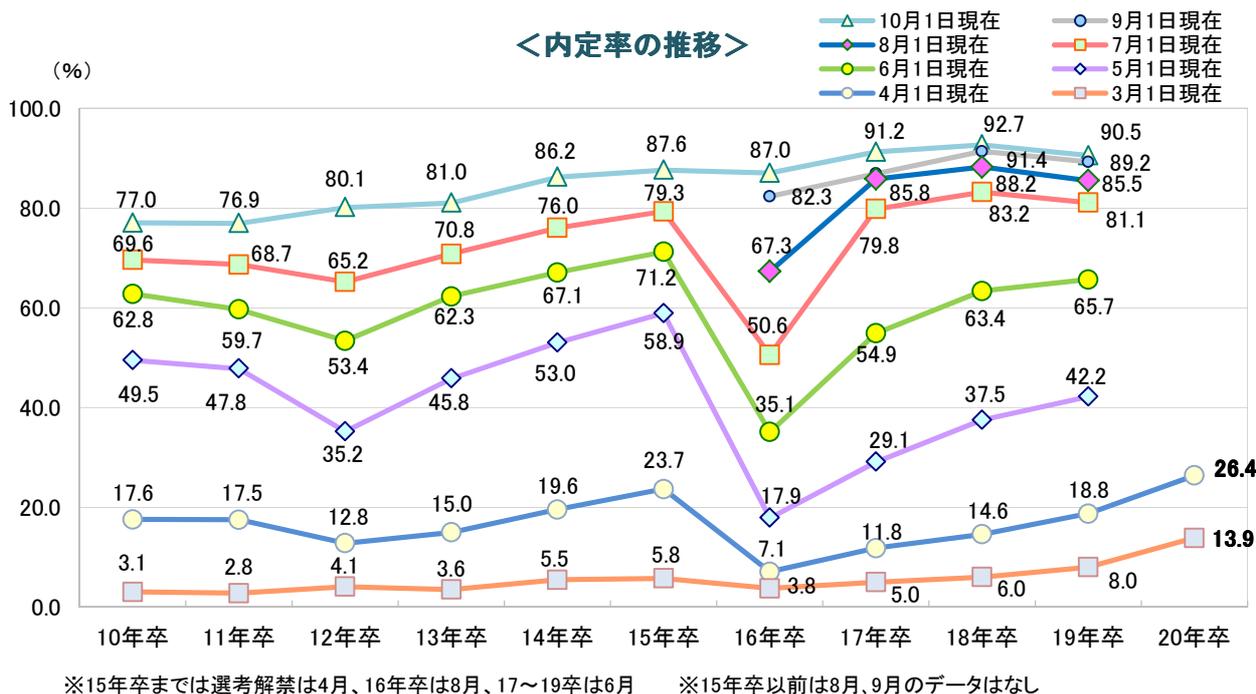
〈4月1日現在の内定状況〉



〈内定者の活動状況〉



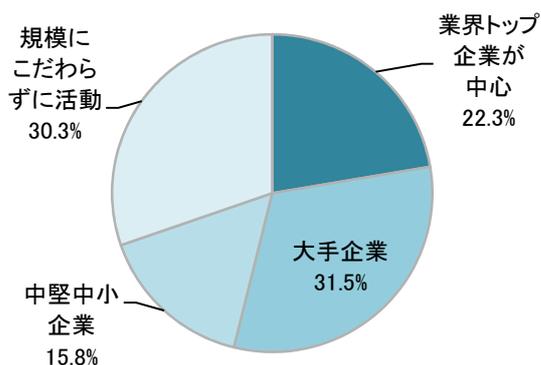
*「内定」には、内々定を含む
※（ ）内は2018年の同調査での4月現在の数値



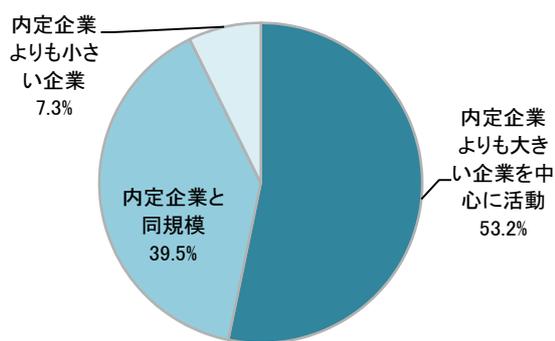
2. 就活継続者が活動の中心とする企業

就職活動を継続している学生（全体の 93.4%）に、就職活動の中心としている企業規模を尋ねたところ、「業界トップ企業」22.3%、「大手企業」31.5%で、大手狙いの学生が計 53.8%に上った。さらに、内定者のうち就職活動継続者には、内定保持企業の規模と比較してもらった。「内定企業よりも大きい企業を中心に活動」が半数を超えており（53.2%）、早期選考で得た内定を保持しつつ、より大手の企業に挑戦しようという戦略が読み取れる。

<就職活動の中心とする企業規模>



<内定保持者の今後の活動方針>



※内定保持者が回答

調査概要

- 調査対象：2020年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,250人（文系男子406人、文系女子376人、理系男子325人、理系女子143人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2019年4月1日~4日
- サンプリング：キャリアス就活2020学生モニター（2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」）